

各 位

会 社 名 株式会社アマナ
 代 表 者 代表取締役社長 進藤 博信
 (コード番号 2402 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役経営企画担当 築山 充
 TEL : 03-3740-4011

**個別決算の貸倒引当金の戻し入れ、特別損失の計上、
 通期連結業績予想と実績値との差異及び通期個別業績と前年実績値との差異、
 並びに剰余金の配当(無配)に関するお知らせ**

当社は平成30年12月期において、個別決算の貸倒引当金の戻し入れ、特別損失の計上、平成30年5月1日付で公表いたしました平成30年12月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び平成30年12月期個別業績と前年実績値との差異、並びに平成30年12月31日を基準日とする剰余金の配当(無配)につき決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金の戻し入れの計上

個別決算

当社の連結子会社等の財政状態等を勘案し、営業債権に対する貸倒引当金の戻し入れを 184 百万円計上いたしました。個別決算の損益計算書上は貸倒引当金繰入額(販売費及び一般管理費)のマイナスとして表示しております。

なお、連結財務諸表上では一部を除き消去されるため、連結業績への影響は軽微であります。

2. 特別損失の計上

個別決算

当社の連結子会社の株式の実質価値が低下したため「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関連会社株式評価損を 364 百万円計上いたしました。

なお、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 平成30年12月期通期連結業績予想と実績値との差異(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	22,600～ 24,000	730	530	140	28.15
今回実績(B)	22,290	550	442	21	4.27
増減額(B-A)	△309～ △1,709	△179	△87	△118	
増減率(%)	△1.4%～ △7.1%	△24.6%	△16.5%	△84.8%	
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	21,752	774	578	391	78.80

差異の理由

売上高は、映像企画制作・TVCM企画制作といったコンテンツの企画制作案件を中心に前期実績値を上回りましたが、計画よりも緩やかな増加に留まったため計画を下回りました。一方、販売費及び一般管理費と営業外費用の抑制をはかりましたが、売上高が計画を下回ったことによる利益の減少を十分に補うことができず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は計画を下回りました。

4. 平成30年12月期通期個別業績と前年実績値との差異(平成30年1月1日～平成30年12月31日)について

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前期実績(A)	17,212	324	782	817	164.34
当期実績(B)	17,777	436	572	60	12.26
増減額(B-A)	565	112	△210	△756	
増減率(%)	3.3%	34.5%	△26.9%	△92.5%	

差異の理由

映像企画制作・TVCM企画制作といったコンテンツの企画制作案件を中心に売上高が堅調に進捗したため、売上高及び営業利益は増加いたしました。一方、前期実績値に比べ受取配当金が減少したことで経常利益は減少し、関連会社株式評価損、海外連結子会社における不適切会計に伴う過年度決算訂正関連費用などの特別損失を計上したことにより、当期純利益は大幅に減少いたしました。

5. 剰余金の配当(無配)について

配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成30年5月1日公表)	前期実績 (平成29年12月期)
基準日	平成30年12月31日	平成30年12月31日	平成29年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

修正の理由

当事業年度においては当期純利益を計上したものの分配可能額が存在しないため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

以上